

きよせ次世代育成支援行動計画(前期計画)の評価及び達成状況

1 評価(総括)

清瀬市では、次世代支援に向けて平成17年に行動計画「子育てって楽しいな！と思えるまちに」を策定し、取組みを行なってきました。

妊娠・出産から乳幼児期、児童期、少年少女期に亘る長くそして最も変化の激しい時期の人々を様々な面から支援していく取組みは膨大で、奥深いものです。

清瀬市では、大きく「健康づくり・発達支援」「子育て支援」「保育(仕事と子育ての両立や子育て家庭の負担軽減)」「教育」という側面から、様々な従来からの施策を組み合わせ、新たな施策を実施することで取組みを開始しました。

取組みの最初の5ヵ年(前期)は、まずは仕組み・体制を構築し、市民の皆さんに知っていただき利用していただくこと、また、そうした仕組みを運営し、日常的に支える組織や人のネットワークを作りその輪を広げていくこと、その中で、地域として皆が子育てを支援していく意識を少しでも共有することを目指しました。

中間的に前期を振り返ると、子育て支援の中核的組織である子ども家庭支援センターを設置して、個別の施策に横の連携を持たせ施策の推進や施策の浸透に大きな力を発揮しました。また、施設面でも中央児童館の建設・開設により各種事業の拠点ができ、事業の推進や連携を進めることができました。更に、児童館は、市民の皆さんにも好評で、中央児童館はこの2年間入館者が毎年12万人超と連日大賑わいとなっています。

子育て支援の重要な課題のひとつに、都市化、核家族化の進行の中で母親の孤立化があります。これに対する有力な解決策の一つは、仲間づくりや気軽に何でも相談できる(話せる)人との出会いとコミュニケーションづくりですが、そうした場や機会を提供するひろば事業も、来場された皆さんには大変好評であり、他の多くの事業についても満足度は高いものとなっています。

このように、前期の取組みを中間的に総括すれば、最初の立ち上げは順調に進んでいると評価することができます。

その一方、保育ニーズについては、認可保育園の定員増や弾力化の運用、認証保育所の設置などを実施しましたが、待機児童解消の課題はまだ残っており今後も待機児童解消に向けた取組みが必要です。また、女性の多様な能力を子育て期間中も中断させることがないよう、生活と仕事の両立を図るための取組みや、併せて夫の子育てへの参画(育児休暇の積極的取得を含む)についても、啓発等を含め十分な取組みが必要です。

この次世代育成支援対策推進法は10年間の時限立法ですが、子育て支援については、10年経過した後も、皆が子育てを支援し続ける意識と気持ちと行動力を持ち続けることが大切であり、そのための継続させていく仕組みを構築していくことも、大切な課題であります。

2 達成状況

区分	項目	目標事業量等	達成現況等 (平成20年4月1日現在)	
多 在 様 宅 な 家 就 庭 形 へ の 態 支 の 援 家 庭	ファミリーサポートセンター事業	平成17年度 新規1カ所	17年10月開始 (NPO法人委託)	19年度実績、依頼会員647人、提供会員104人、両方会員18人、計769人 活動件数 延2234回
	一時保育事業	平成21年度 13施設 (31名分)	認可保育園 13カ所で実施	私立すみれ及びきよせ保育園の2施設において占有スペースを設けて実施。定員は、それぞれ10人程度、他11園では空き定員の範囲で実施。空き定員の場合、恒常的な受け入れができないため充実が必要。
	トワイライトステイ事業 (子育て短期支援事業)	平成17年度 新規1カ所	ショートステイ事業で一部対応 代替事業	ショートステイ事業で対応できる範囲で対応しているが、ショートステイ自体に定員があるため常時利用できる体制でない。
	ショートステイ事業 (子育て短期支援事業)	平成17年度 新規1カ所	17年11月開始(社福児童養 護施設委託)	東久留米市との共同事業(19年度実績) 件数:日帰り41件、宿泊21件 日数:日帰り41日、宿泊65日
	病後児保育(施設型)	平成17年度 新規1カ所	17年4月開始(社福私立保育 園委託)	私立きよせ保育園において実施。 定員は、4人
	病後児保育(派遣型)	施設型の利用実績により検討	厚生労働省委託事業「緊急サポートネットワーク事業」 社会福祉法人東京都社会福祉協議会に委託	
	特定保育事業	一時保育・ファミリーサポートセ ンター事業の利用状況により検 討	一時保育事業で対応	一時保育を実施している施設において、 同事業の利用の中で対応している。
在 宅 家 庭 へ の 支 援	子育てひろば事業(A型)	公立保育園8施設で実施	公立保育園7園(3拠点)実施	実施回数を増やすとともに、内容の充実を 図っている。平成19年度は、実施回数220 回、参加者数3,451人
	子育てひろば事業(B型)	継続	私立保育園1園で実施	ひろば事業の拠点施設である。平成19年 度は、実施回数447回、参加者数6,908 人
	子育てひろば事業(C型)	平成21年度 1施設	19年度5ヶ所で実施 (3カ所直営、2カ所はNPO法 人委託)	19年度実績 野塩センター(1,994人) 下宿センター(2,770人) ころぼっくる(35,451人) 清瀬市民センター(8,620人) 竹丘センター(5,307人)
	産前・産後支援ヘルパー 派遣事業	ファミリーサポートセンター事業 の利用状況により検討	17年12月育児支援ヘルパー 事業で対応	19年度利用実績、11件延61日 利用回数の制限や利用料金に課題あり。
	訪問型一時保育事業	ファミリーサポートセンター事業 の利用状況により検討	ファミリーサポートセンター事 業で対応	ファミリーサポートセンター事業は、原則提 供会員宅での実施のため、訪問型の一 時保育事業とはいえない。

区分	項目	目標事業量等	達成現況等 (平成20年4月1日現在)	
働く家庭への支援	通常保育事業	平成21年度 13施設 定員1102名(認可保育園)	13ヶ所 定員1,052人(認可保育園)	前掲指し図の目標に達しておらず、定員50人が未達成となっている。 公立(1施設)廃止と民設(1施設)新設に伴い、69人の定員増を実施して1,052人。更に弾力化(64人)を実施して1,116人の受入が可能
	認証保育所	平成21年度 A型1施設	17年11月A型1ヶ所開設	(株)こどもの森が青瀬ブチクレイシュを開設 定員は30人
	延長保育事業	2時間延長保育園の利用動向を把握した上で検討	2時間延長保育園2施設 1時間延長保育園6施設	19年度より私立野塩及びきよせ保育園で2時間延長を実施。1時間延長は、私立清瀬上宮、中清戸、すみれ保育園及び公設民営の駅前乳児保育園並びに公立の第1、第3保育園で実施
	休日保育	ファミリーサポートセンター事業や一時保育の利用状況により検討	ショートステイ事業で対応	検討を継続
	夜間保育	延長保育、ショートステイ、ファミリーサポートセンター事業の利用状況により検討	ショートステイ事業で対応	検討を継続
	学童クラブ (放課後児童健全育成事業)	平成21年度 10施設 定員610人(新規1施設)	9施設 定員560人	前掲指し図の目標に達しておらず、1施設定員50人が未達成となっている。 弾力化で対応。615人を受入可能。 16・17年の松山、竹丘地区の大規模開発によるニーズ増を見込んだが、過去3年間の待機児童数は平均4人。
総合的な支援	子ども家庭支援センター	平成17年度 新規1ヶ所	平成17年7月開設 (先駆型) 平成19年2月清瀬市要保護児童対策地域協議会設置	平成20年4月より組織改正のため課に昇格 虐待防止ネットワーク事業(要保護児童対策地域協議会の運営)(子ども家庭専門研修) 子ども家庭総合ケースマネジメント事業(総合相談事業)(サービス調整)(子ども家庭在宅サービス) 地域組織化事業(清瀬市子育てネットワーク支援事業)(いきいき子育て支援事業)(つどいの広場)(親の子育て力支援事業)(地域組織化活動) 在宅サービス基盤整備事業(養育家庭体験発表会) 要支援家庭サポート事業(育児支援ヘルパー派遣事業)(見守りサポート)(虐待防止訪問事業)
	虐待防止ネットワーク事業	平成17年度 新規1ヶ所	虐待防止ネットワーク事業は子ども家庭支援センター事業に移行	
	子どもの遊び場「ミニひろば」	平成21年度 3箇所	つどいのひろば事業で対応	つどいのひろばを大幅に普及 NPO法人も独自にひろば事業を展開している。
	子育て情報誌の発行	平成17年度 新規	平成17年度 第1回発行 平成18年度 第2回発行	平成20年度 第3回改訂版発行(5,000部)